

補助事業番号 2022M-038
補助事業名 2022年度 福祉機器の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 緑水会

1 補助事業の概要

機械技術を活用した福祉機器の振興（福祉機器に整備：特殊浴槽）

【福祉機器の整備内容】（特殊浴槽 一式 株式会社アマノ）

- ① 特殊浴槽（マルコトリエ）：SB7000RC 2台 ※ダブルアクション
- ② フラット担架：SB7300N 2台
- ③ 電動コンパクトストレッチャー 2台
- ④ その他 ※運送費・取付け費

【実施の意義】

- ・ダブルアクション浴槽（浴槽の上昇と同時に担架が下降：浴槽高93cm）を導入したことで、職員の介護負担軽減が図られる。
- ・ストレッチャーが大きくなった事で体の大きな利用者が安全に入浴できる。
- ・機械浴槽の故障によるトラブルが回避され、安全な入浴が提供できる。

【補助対象経費総額】 9,900,000円 【補助金交付額】 7,425,000円（補助率 3/4）

2 予想される事業実施効果

- ・新機種導入を職員採用時のアピールすることで、新規職員採用に繋がる
- ・職員の介護負担軽減（腰痛緩和）から離職者減少に繋がる。
- ・補助による経営面の安定から低所得者対策（社会福祉減免）が継続できる。
- ・社会資源として地域の方に機械浴槽を積極的に活用していただき地域貢献に繋げる。

3 本事業により導入した機器

① 特殊浴槽 下記URL

(<http://www.hinoharaen.jp/pdf/%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E7%B4%B9%E4%BB%8B.pdf>)



特殊浴槽・担架・コンパクトストレッチャー

玄関写真

設置場所：【特別養護老人ホーム 桧原苑】

②本事業に係る印刷物等

- ・ 桧原苑ホームページ：事業完了のお知らせ

<http://www.hinoharaen.jp/info.php>

- ・ 桧原苑ホームページ：桧原苑だより ※12月末発送予定下記掲載待ち

<http://www.hinoharaen.jp/info.php>

介護福祉士勉強会

毎年一月に、介護福祉士国家試験が行われます。介護福祉士試験を受験するには、三年以上の実務経験と介護福祉士実務者研修という四百五十時間の研修を修了する必要がありますが、今年は三名の職員が受験資格を得て、受験を予定しています。試験を受験する職員のため、毎年合格をサポートするため、毎年中堅の介護福祉士の職員が中心となって、勤務終了後に勉強会を開催しています。

桧原苑では、インドネシアから介護技能実習生と特定技能資格による介護職員を受け入れているのですが、今年度はこのうち二名の特定技能の職員が試験にチャレンジすることになりました。日常での会話にはほとんど困らない日本語能力がありますが、専門用語の多い介護福祉士試験の勉強には二人とも悪戦苦闘しているように見えます。勉強会では問題文にふりがなを付いたり、分からない用語があれば単語の意味からひとつずつ説明するなど、教える側もこれまでの勉強会とは違った苦労があるようです。試験まであと少し、全員合格を目指して頑張れ！

(広報委員・H)



特殊浴槽を新調しました

この度、公益財団法人JKAより競輪補助金の交付を受け、より特殊浴槽や付随器具を導入致しました。

- ・特殊浴槽(マリノコート)モ
- ・二台(株式会社アマノ)
- ・フラット担架(一台)
- ・電動コンパクトストレッチャー(二台)

「ストレッチャーが大きく、介助しやすい」「シャワーの設置箇所が多く使いやすい」「音声ガイドダンスがあるので分かり易い」

「浴槽が大きくなり、高さも九十センチメートルと、介護が楽になった」など、介護現場も歓迎しております。今後、地域の方にもご利用いただきたいと考えております。

以上、ここに導入完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に感謝を申し上げます。



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 社会福祉法人 緑水会（シャカイフクシホウジン リョクスイカイ）

住所： 〒190-0214

東京都西多摩郡檜原村5650番地8

代表者： 役職名 理事長 岡部義和（オカベ ヨシカズ）

担当部署： 特別養護老人ホーム 檜原苑

（トクベツヨウゴロウジンホームヒノハラエン）

担当者名： 役職名 施設長 渡邊 昇（ワタナベ ノボル）

電話番号： 042-598-0333

F A X： 042-598-0334

E-mail： soumu@hinoharaen.jp

U R L： <http://www.hinoharaen.jp/>